

初めての方はご覧ください

# **$\beta$ -SGR** Electric Focusing System(Arkab)

セミオートマチックフォーカスシステム

リリース操作/設定ガイド

BitRan

MaximDL

OUTprocess

UNVclicker

UNVkeysend

SGR Project.

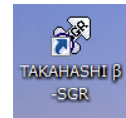
Copyright 2010 Daiichi Co. Ltd.

<http://sgr.dai1.jp>

## ■ β-SGR の起動

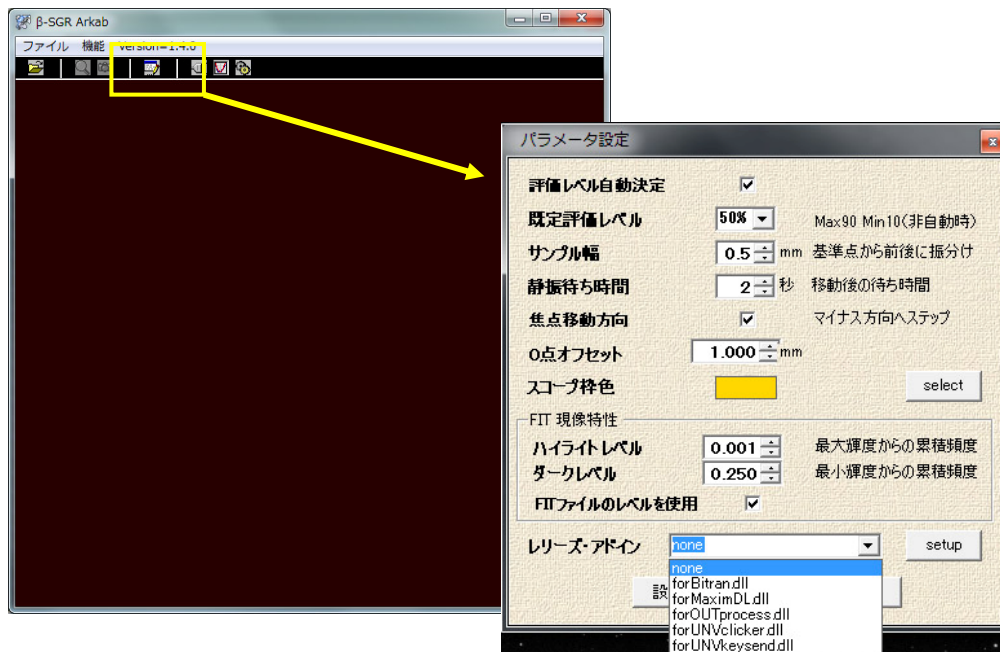
### 【β-SGR(Arkab)ソフトウェアの起動】

- ・モータードライブ・ユニットを接続して、ショートカット又は、スタート・メニューから起動してください。



### 【パラメータ設定】

- ・パラメータ設定を開き、レリーズ・アドインを選択します。



## BitRan

ビットラン BJ シリーズ撮影アプリ専用 レリーズ操作連携アドイン  
対応アプリ: ビットラン社 BJ シリーズ専用

## MaximDL

MaximDL 専用 レリーズ操作連携アドイン  
対応アプリ: MaximDL によって撮影する全てのカメラ

## OUTprocess

フリーソフト UWSC45 を用いた汎用アドイン URL: <http://www.uwsc.info/>  
対応カメラ: ほとんど撮影用アプリに対応しますが、少し不便な場合もあります。

## UNVclicker

撮影用アプリケーションのウィンドウをキャプチャーして、目的のボタンをソフト的に押します。  
対応アプリ: NILimage、SBIG/CCDOPS、MaximDL、NikonCapter、CanonCapter 等、に対応

## UNVkeysend

撮影用アプリケーションのウィンドウをキャプチャーして、ショートカットキーコードを送信します。  
対応アプリ: EOS Utility 等の特定のキーコードによってレリーズ操作ができるアプリに対応します。

# BitRan

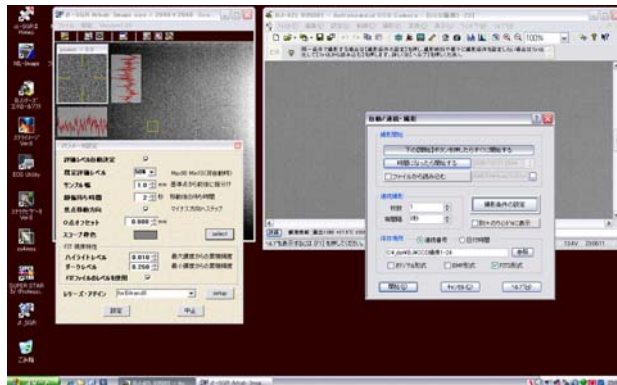
## 【ビットランリリース設定】

### 【解説】

この連携ソフトは、リリースによって、

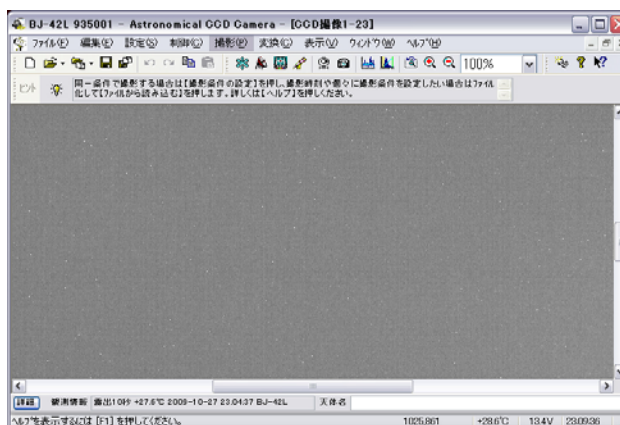
- ① CCD アプリに Ctrl+L を送信し、自動/連続・撮影を開きます。
- ② 自動/連続・撮影に撮影開始に撮影開始キーを発行します。
- ③ 撮影されたファイルは、指定フォルダに保管されます。

このファイルを Arkab が読み取りフォーカス操作を行います。



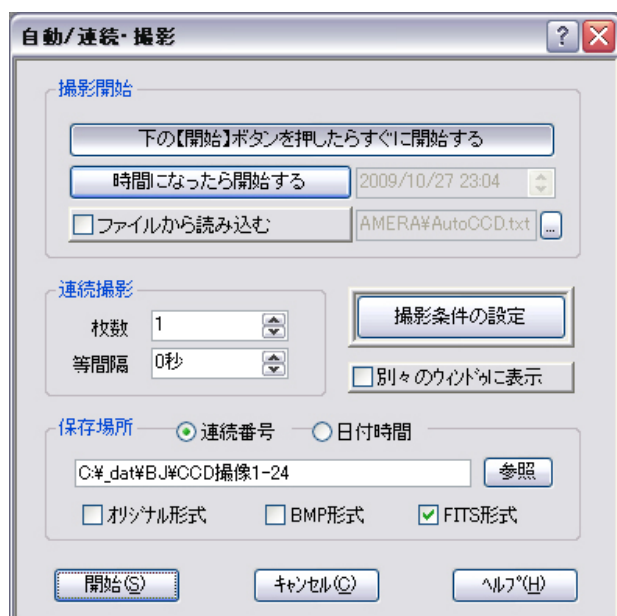
## 【CCD カメラ・アプリ】

- ① CCD カメラ撮影アプリを起動



## 【自動/連続・撮影】

- ① 自動/連続・撮影を開く
- ② ファイル形式を Fts に設定
- ③ ファイル名を連続に設定
- ④ 撮影枚数を1枚に設定
- ⑤ 露出時間を設定(1~10秒程度)
- ⑥ 保存フォルダを設定
- ⑦ 開始ボタンにて撮影
- ⑧ 自動/連続・撮影がクローズする



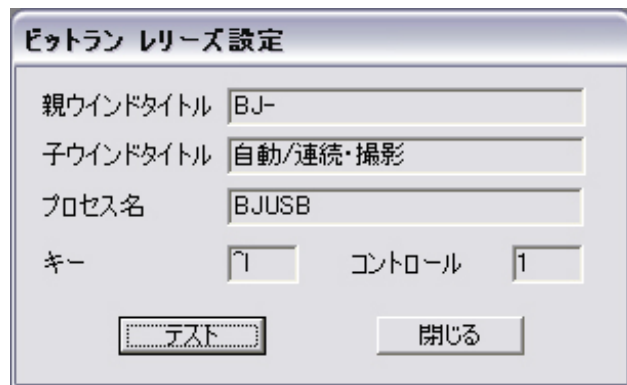
### 【リリース・アドインの設定】

- ①forBitran.dll を開く
- ②setup



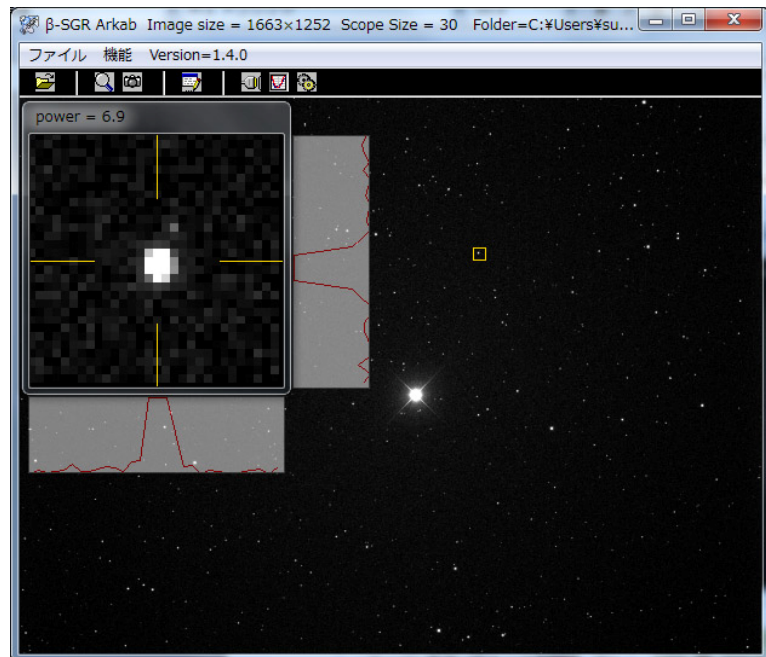
### 【テストボタンにて撮影テスト】

- ①既に BJ 専用に変更してありますので、テストボタンで、露出動作を確認します。



### 【CCD カメラ・アプリ】

- ①撮影したファイルを  $\beta$ -SGR(Arkab)で開き、サンプル星を選択します。



# MaximDL

## 【MaximDL control setting】

- ① forMaximDL を選択
- ② setup
- ③ フォルダ名を入力
- ④ ファイル名を入力
- ⑤ ビニングを設定
- ⑥ Accept



## 【レリーズ操作】

・電動フォーカス I/F の自動操作パネルのレリーズボタン操作によって、自動的に MaximDL を立ち上げ、指定されたフォルダに撮影した画像が保存されます。

**注) MaximDL 立ち上げ後に Arkab 側の MaximDL のレリーズボタン操作によって、操作した場合は、誤動作する場合がありますので、MaximDL の起動は、必ず Arkab の自動操作パネルのレリーズボタン操作によって、行ってください。**

・冷却操作や CFW 等の操作は、Arkab による立ち上げ後に行ってください。

・レリーズ時間(露出時間)は、自動操作パネルのレリーズ時間に設定します。

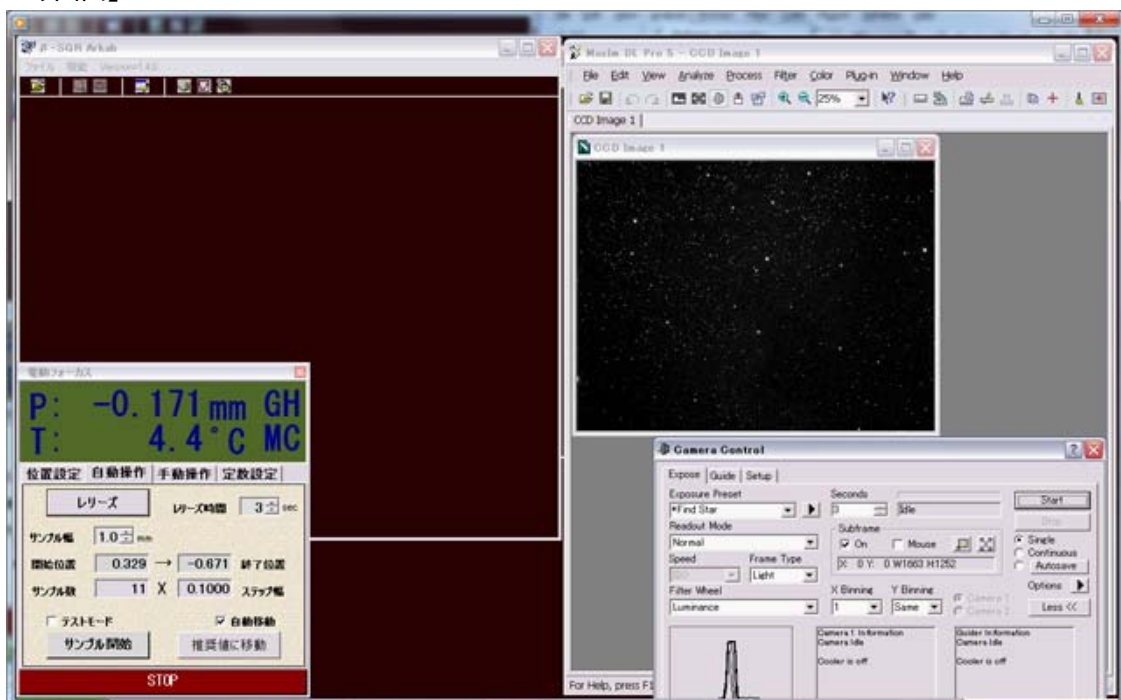
**注) 自動操作パネルのレリーズボタン操作によって、レリーズする場合のファイル、ビニング及び露出時間は、Arkab 側の設定によって動作しますので、MaximDL 側の設定は反映されません。**

☆この操作は、基本的に画面全面を撮影し、フォーカス対象のサンプル星を選んでいただく操作になります。フレーミング等の MaximDL 側の機能を使用する場合は御使用いただけませんので、「UNVclicker」を御使用ください。

**注) この MaximDL 連携ソフトは、Arkab を終了することによって、MaximDL も自動的に終了しますので、ご注意ください。**

参考: MaximDL の連携操作は、<http://www.a-sgr.net/b-sgr/index.html> の動画ページでも紹介していますので、ご覧ください。

## 【アプリ画面】



# OUTprocess

## 【OUTprocess control setting】

### 「説明」

- ・複雑な撮影操作又は他のレリーズ操作では操作不可能なレリーズ操作をカバーする目的で設定しているアドインです。
- ・ここでは、UWSC45 (Windows 自動化ソフト) を使用しています。
- ・強力なスクリプト言語によって複雑な操作が可能です。

### 「設定」

- ① Exe image に UWSC.exe を設定する
- ② Parameters に \* \* \*.UWS スクリプトを設定します。
- ③ Test ボタンにてプロセスの実行の確認をします。
- ④ OKならば、Accept

### 「ご注意」

この機能は、コントロール画面が最前面にあり、アクティブであることが前提ですので、非アクティブ場合は、コントロール不可となります。また、マウスを占領しますので、シーケンス中のマウス操作はできません。



+



## 【UWSC について】

### 「お願い」

- ・ここで推奨している UWSC45 (Windows 自動化ソフト) は、umiumi さんのフリー版を紹介させていただいています。ダウンロード等は、使用者の責任で、お願いいたします。

### 「機能」

- ・マウスとキーボード入力を記録して再生する事ができます。(スクリプト形式ですので自由に編集する事ができます)
- ・強力なスクリプト言語によりアプリの操作ができます。
- ・スケジュール機能により指定時間や指定ウィンドウが現れた時などの指定ができます。

### 「ダウンロード」

<http://www.uWSC.info/download.html>

# UNVclicker

## 【Universal clicker settings】

・撮影アプリケーション等のコントロール画面をキャプチャーし、ボタン操作等を Arkab が行います。

- ① 撮影用アプリケーションを起動し、撮影準備（保存フォルダ、ファイル形式、その他）の設定をします。
- ② レリーズ・アドインで、「forUNVclicker.dll」を選択します。
- ③ Window の search にて画面をキャプチャーして、撮影アプリ画面を選択します。
- ④ Control の search にて画面をキャプチャーして、撮影ボタンを選択します。
- ⑤ test ボタンにて、レリーズ動作の確認をします。
- ⑥ OK ならば、「Accept」します。

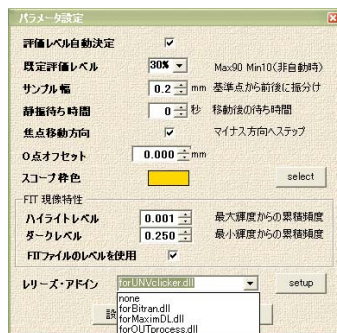


## 【Nikon Capture NX2 による設定例】

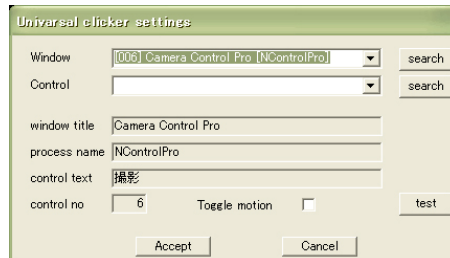
### Camera Control Pro



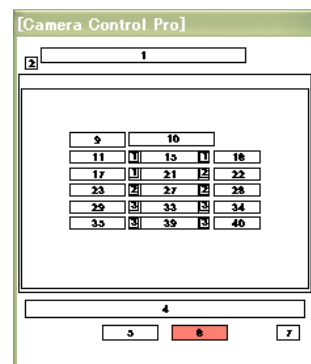
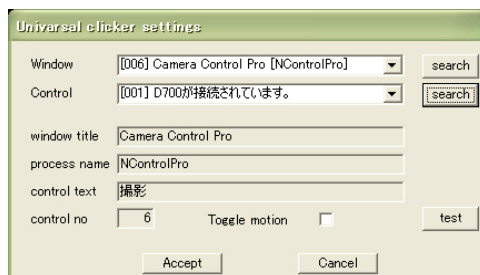
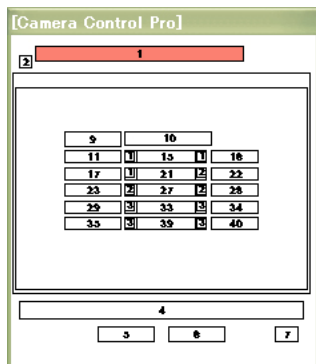
### forUNVclicker.dll を選択



### Search & Camera Control Pro 選択



### Search & 撮影ボタンを選択



# UNVkeysend

## 【Universal key sender settings】

- ・ 撮影アプリ等のコントロール画面をキャプチャーし、キー操作を Arkab が行います。
- ・
- ① 撮影用アプリケーションを起動し、撮影準備(保存フォルダ、ファイル形式、その他)の設定をします。
- ② レリーズ・アドインで、「forUNVkeysend.dll」を選択します。
- ③ Window の search にて画面をキャプチャーして、撮影アプリ画面を選択します。
- ④ key の操作キーを選択します。  
Toggle motion(トグル動作)の選択をします。トグル動作とは、レリーズ動作においてレリーズ開始にON、終了にONする動作を言います。
- ⑤ test ボタンにて、レリーズ動作の確認をします。
- ⑥ OKならば、「Accept」します。



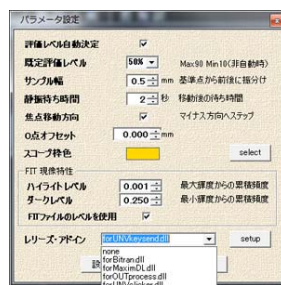
## 【EOS Utility・(EOS 40D) による設定例】

### EOS 40D 起動

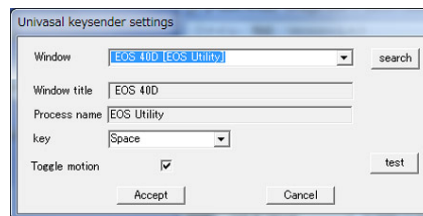
- ・ BULB 設定
- ・ ISO 設定
- ・ 画像設定 (例:L 画像)
- ・ フォルダ設定
- ・ ファイル名設定
- ・ その他



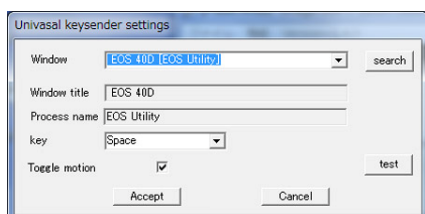
### forUNVkeysender.dll を選択



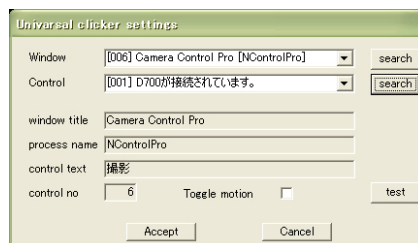
### Search & EOS 40D (EOS Utility) 選択



### Key ボックスに“Space”を選択 Toggle motion を選択



### Search & 撮影ボタンを選択



・test ボタンにてレリーズ動作試験

### 設定



注)この設定の場合、レリーズ時間(露出時間)は、自動操作パネルの設定に従います。

以上